



2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹



2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC12月第 1 例会 (2014.12.2) No.3066

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

先ず、先週末の IM にご参加下さった皆様、洵にありがとうございました。おかげさまで大変な盛会となり、主催の南クラブも喜んだようであります。

さて、本日は、8月5日にお話ししました亀田縞の着物を着て参りました。本来であれば綿の着物は作業着や内着とすべきものですが、新潟の特産品ということで、どうかおおらかに考え下さいませようお願いいたします。以前にもお話ししましたように、とても丈夫な生地でありながら、何度も着ているうちに柔らかくふっくらとしてきて暖かく、しかもリーズナブルなお値段で仕立てることができ、実に重宝いたします。

さらに本日締めて参りました帯も、いささか思い入れがあるものです。10年ほど前、本クラブの夜例会で籤引があったとき、幸運にも頂くことができた景品ですが、下岡先生が提供してくれたものです。博多織の帯ですが、色も落ち着いた茶色でさまざまな着物に合わせ易く、頂いてからずっと愛用しています。下岡先生ありがとうございました。

ところで、これまで会長挨拶で新潟の産物について何度かお話しさせて頂きましたが、そもそも新潟県人でもない私が新潟の産物に愛着をもつようになったことには、一つのきっかけがありました。

スライドをご覧ください。新潟県出身の方ならすぐおわかりになりますように、新潟の燕でつくられている伝統工芸品・鋳起銅器の茶筒の、一般的な品物です。鋳起銅器は、平らな銅の板を根気よく鋳で打ち、立体的な器に仕上げる伝統工芸です。江戸時代中期に、仙台の渡り職人が新潟に技術を伝えたとされています。当時は、弥彦山から採れた銅を用いて、やかん類が生産されていました。明治維新後に技術水準が上がり、彫金技術を含め美術工芸品となりましたが、これが今日の新潟県燕市の金属加工業の発展の基盤となっています。国際的にも高い評価を受け、洋食器の分野では、ノーベル賞授賞式の晩餐会で使用されるスプーン、ナイフを造っていることもよく知られています(ノーベルカトラリー)。

しかし、今スライドに写っているものは、燕でつくられたものではありません。私が大学生の時でしたが、地元の

福島市のデパートで、鋳起銅器の展示即売会がありました。お茶が好きな母親に誘われてひやかしについて行ったのですが、一枚の銅の板から鋳で根気よく打ち出して造られる器の巧みさに大いに感心しました。デパートの店員の話から、それらを造った職人の工房が、家から車で 20 分程度のところにあることを知り、母と共に訪ねてみました。その工房は、とある農家の離れにありました。当時まだ 20 代か 30 代の始めくらいの男性の職人が一人でこつこつと作業していました。片足がほとんど動かない障害のある方で、作品や仕事のことをいろいろと話してくれましたが、やがてお母さんが出てこられて、お茶を出してくれました。お母さんの話によると、息子さんの足は生まれつきの障害で、そのために学校でもうまくいかないことがたくさんあり、また、農家を継ぐことができる身体でもなく、将来のことを大変心配したそうです。しかし、手先が器用で、物造りが好きで、新潟の燕の鋳起銅器に関心を持ったので、一念発起して、燕の職人さんのところに弟子入りさせてもらい、修行を積んだとのことでした。師匠となった職人さんは、親身になって面倒を見てくれて、職人として立ちどころまで仕込んでくれたので、故郷の福島に戻って実家の離れに工房を開き、造ったものを少しずつ売って行って、とうとうデパートで展示即売会ができるところまで来た、とのことでした。最近ようやく息子の将来も安心できるようになったと、目を潤ませながらお母さんが話しておられたことを思い出します。そのとき、工房にあった茶筒のなかで、一番気に入ったものを買ったのですが、それがこの茶筒です。30年近く前のことですが、ずっと愛用しております。そしてそれ以来、新潟県の人に大変良い印象を持つようになり、新潟で造られているものに関心を持つようになりました。数年後、新潟で就職が決まって住みつくようになってからは、燕で造られている洋食器もほうも気になり始めて、コーヒーポット、ティーポット、砂糖入れ、ミルク入れ、と買い足してきました。

洋食器のほうは職場において愛用しているので、ときどき学生さんから、ヨーロッパに出張に行くときに買って来たのでしょうかと言われるのですが、新潟で造られている製品ですと答えると、皆驚きます。確かに、ヨーロッパの骨董市に行けばアンティークの素晴らしい掘り出し物が見つかることもあり、また、今の時代はインターネットで日本に居ながらにして購入することもできます。しかし私は、新

湯製のこの茶器を愛用することを止める気はありません。その理由は、かつて購入した銅の茶筒のことを思い出すからであり、また、それを造った職人さんとそのお母さんのことを思い出すからであり、そして、具体的に誰なのかは知りませんが、その職人さんを親身になって仕込んでくれた新潟の職人さんのことに思いが及ぶからであります。つまり、物それ自体の良さもさることながら、そこに「人」の存在を感じるからであります。

話は変わりますが、今この会場にいる方々は、多かれ少なかれ何らかの商品を扱って日々を営んでおられます。その商品は、物かもしれませんし、形のないサービスかもしれませんし、医療活動かもしれませんし、教育活動かもしれません。そして、いかなる商品であろうと、絶えずその品質を上げ、高い水準を保つべく努力することは、職業の基本の一つであります。しかし、これだけ物と情報がグローバルに行き交う時代になりますと、最高品質・最高水準は、あっという間に最高のものではなくなってしまいますから、扱っているものすべてについて最高品質・最高水準を維持し続けることは現実的には不可能、ないし至難の業と言わざるをえません。したがって、他と比べてどうであろうと、十分に良い品質のものをどのように顧客に買ってもらうかということが、事業の足腰になろうかと思えます。その際に、どうせ同じ品質のものを買うならぜひ新潟でつくられたもの、新潟にゆかりのあるものを購入したいと県内外そして国外の多くの人々に感じてもらうことができるかどうか大切なのではないでしょうか。そして、それを実現するのはやはり「人」の力なのだろうというのが、先ほどご紹介させて頂きました私の体験談の趣旨であります。逆に言えば、たとえ最高品質の商品を揃えていても、それを扱う「人」の点でぎくしゃくしたところがあれば、少し商品の品質が揺らいただけで、波が引いていくように見限られてしまうのではないのでしょうか。

今日のお話は、ロータリーに即して言えば、職業奉仕のことと考えて頂いても、地域経済の振興のお話と考えて頂いても、人材育成のお話と考えて頂いても結構です。昨日から師走となり、いろいろなことが区切りを迎え、新しい年や新しい体制について何かと思いが及ぶ時期になっております。本クラブにつきましても、本日の年次総会によって新しい「人」の陣容が整います。来年も、本クラブとみなさまのそれぞれの事業所が素晴らしい人々の活躍により更に発展していくことを祈念しまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

(3) 米山奨学生 朴 治国さん挨拶・奨学金贈呈

(4) 100%出席バッチの贈呈

坂井 賢一君 1年 相澤 信介君 4年
山本 正治君 20年

(5) 誕生日お祝い贈呈(9名)

(6) 結婚記念日お祝いの紹介(2名)

(7) ニコニコボックス紹介(村松 敦委員)

・若槻 良宏君 11月26日に長女が生まれました。その日は、長男の4回目の誕生日でもありました。子どもたちの健やかな成長を願い、ニコニコします。

・石橋 正利君 我が家の三男坊が、お陰様で司法試験に合格しました。親に似ず勉強家で、我が子ながらビックリです。会員の皆さまとも喜びを分かち合いたく思い、寄付させていただきます。

・小飯田 澄雄君 1. 結婚記念日のお花ありがとうございました。記念日当日に届き、家内は大喜びです。2. 皆様に心配をお掛けいたしました右腕の骨折もほぼ治り、来春からは又ゴルフもできると思いますのでよろしくお願い致します。3. 仕事の面も皆様方の御協力もあり、なんとか正月を迎えられそうです。ありがとうございます。

・高橋 清文君 先日、IM懇親会の後、佐々木ガバナーをお迎えして二次会を開催しました。日頃、聞けないお話を頂いたりして、大いに盛り上がり楽しいひとときを過ごすことができましたのでニコニコします。高橋 秀樹会長はじめ、参加頂いたメンバーの皆様ありがとうございました。ps 初めて新潟クラブのメンバーからお誘いを受けました！と言って大変、喜んでおられました。

・坂井 賢一君 誕生日プレゼントありがとうございました。又、入会して12月で1年、楽しい1年でした。皆さん今後ともよろしくお願い致します。

(8) 幹事報告(安藤 栄寿幹事)

・12月16日までの例会でお預かり致します米山奨学金、財団奨学金が2014年中の確定申告の免税措置の対象になりますので、よろしくお願い致します。

(9) 年次総会開催(次ページに掲載)

(10) 本日の出席率 79.57 %

(2週間前メーク後 83.34 %)

12月9日の例会予定

卓話「雪は何色？」

公益財団法人 雪だるま財団

チーフスノーマン 伊藤親臣 氏

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>

年次総会開催

議長：高橋 秀樹会長

12月2日 理事会報告 出席者11名

1 年次総会について

本日の進め方の確認。

2 RIへの半期報告締切日変更について

2014年1月の理事会に於いて、会員の入退会の報告を30日以内に行う（現状は、180日以内）事が決定。同時に、請求書の請求額を正確なものとするため、少なくとも1月1日と7月1日までには会員情報の変更をRIへ報告する事。

現在、1/1付けの人数で分担金を払っているが、転勤などで会費を受領していないのに、分担金を支払うことがある。1月末への基準日変更を申し入れたが却下されたため、会が立て替え払いをすることとする。

3 12月のプログラム=承認

12月 2日 年次総会

12月 9日 卓話「雪は何色？」

雪だるま財団 伊藤親臣チーフスノーマン

12月16日 卓話「忍び寄る危機—

血液が足りない」

新潟県赤十字血液センター所長 布施 一郎氏

12月23日 祭日につき例会は開催されません。

12月30日 規定休会

4 その他

・結核予防会新潟県支部より複十字シール運動寄付のお願い

→原則、外部からの寄付依頼は受け付けていないので、対応しない。

・IMの報告

1) 総会の成立=会員数98名のところ74名の出席で定足数を充足。(安藤 栄寿幹事)

2) 高橋議長議案説明

議案第1号「次年度会長の指名・選出」=承認

議案第2号「次々年度(2016~2017年度)会長(次年度会長エレクト)の選出」

議案第3号「次年度役員、理事の選出」以上3議案

3) 議案第1号「次年度会長の指名・選出」=承認

クラブ細則により、昨年(2015)の年次総会に於いて

竹石 松次君を次年度会長に承認の確認

4) 次年度会長(会長エレクト)竹石 松次君挨拶
伝統ある新潟ロータリークラブの次年度会長に承認されたことに対し、皆様に感謝すると同時に、責任の重さを痛感しております。

ロータリーの活動は、クラブから始まるわけですが、仲間との友情をはぐくみながら、社会貢献のボランティア活動や、時代を担う若者たちの支援を行うことを綱領に掲げています。

行動基準である四つのテスト、即ち

一、 真実かどうか

二、 みんなに公平か

三、 好意と友情を深めるか

四、 みんなのためになるかどうか

を主眼に、活動や事業を推進して行こうと思います。

従って、これまで多くの成果を出している

従来の活動の延長線上で、皆さんと一緒にロータリアンの親睦を一層深めたいと考えています。

このために、本日承認されました理事・役員の方のご協力とこれからお願いする委員会の充実をお願いしたいと思っております。

私自身は、明治時代から今日まで、新潟県から多くの逸材を輩出しております。

例えば、新発田市から世界に飛躍した実業家大倉喜八郎、三井物産の基礎を礎を築いた、佐渡の益田孝、学者として多くの功績を遺した三条の諸橋轍次、書家として活躍した会津八一、芸術家として活躍、人間国宝になった蠟型鑄金の佐々木象堂、刀鍛冶の天田昭次、陶芸家の三浦小平二など、明治・大正・昭和・平成で活躍、又は、活躍中の人たちを紹介しようと思っております。

何れにしても、皆さんが例会やボランティアに参加して頂き、平和で明るい選挙では、ありませんが(本日衆議院選挙が公示されますが)、友情の輪が広がることをモットーとして参りたいと思っております。

ご支援とご協力をお願いします。

5) 議案第2号「次々年度会長(2016~2017年度) = 次年度会長エレクトの選出」

・クラブ細則により、指名委員会の結果を小林悟指名委員長より報告

・小林悟指名委員長=「2016～2017 年度会長候補」に宇尾野 隆君が全員一致で指名（推薦）されたことを報告

「宇尾野 隆君 ロータリー略歴」

2007年3月13日 入会

クラブ内略歴

2007～08年 IA副委員長

2008～09年 RA委員長

2010～11年 プログラム副委員長

2011～12年 副幹事

2012～13年 幹事

2013～14年 会計

地区関係

2010～11年 米山奨学生選考委員

2011～12年 米山奨学担当幹事、
地区主要行事特別委員

2012～13年 米山奨学生選考委員

2013～14年 米山奨学寄付増進委員長

2014～15年 米山奨学寄付増進委員長

入会以来100%出席会員、米山功労者

～全員拍手で承認～

6) 次次年度会長 宇尾野 隆君ご挨拶

2016年-2017年度の会長にご指名をいただきました宇尾野隆でございます。この度、新潟ロータリークラブという大変伝統のあるロータリークラブの次々年度会長にご指名をいただき身に余る光栄と思うと共に大変、身が引き締まる思がいたします。私は入会7年目ではありますがそのうちの5年、地区の米山奨学委員会に在籍し、ロータリーの世界平和については理解が出来てきていると思っておりますが、その他の分野をあまり理解しているという訳ではないと思っております。幸い、1年7ヶ月の準備期間がございますのでロータリーの精神にありますように、会員の皆様の親睦を大切に、社会奉仕とは何か、社会への貢献とは何かということを考えながら私に何が出来るか、新潟ロータリークラブにとって何が出来るか、会員の皆様と一緒にこれからの計画を作ってまいりたいと思っております。まだまだ、若輩者でありますので皆様のご指導とご協力をお願いいたします。どうぞ、宜しく願いいたします。

7) 議案第3号「次年度役員、理事選出」

・小林 悟指名委員長=「役員候補者7名」「理事候補者6名」を全員一致で指名（推薦）されたことを報告

～全員拍手で承認～

8) 高橋議長次年度の役員、理事の「当選」を宣言

9) 閉会

2015～16 年度新潟ロータリークラブ理事・役員

役員・会長	竹石 松次
役員・会長エレクト	宇尾野 隆
役員・副会長、クラブ奉仕A委員長	樋熊 紀雄
役員・幹事	吉田 和弘
役員・会計	安藤 栄寿
役員・S.A.A.	金親 顯男
役員・直前会長	高橋 秀樹
理事・クラブ奉仕B委員長	石本隆太郎
理事・職業奉仕委員長	塚田 正幸
理事・社会奉仕委員長	小田 等
理事・国際奉仕委員長	徳永 昭輝
理事・青少年奉仕委員長	本間 彊
理事・副幹事	細野 義彦